

平成 29 年度 「認知症看護対応力向上研修」(長野会場)参加者アンケート結果

開催日:2017年9月16日(土)・17日(日)

会場:佐久大学

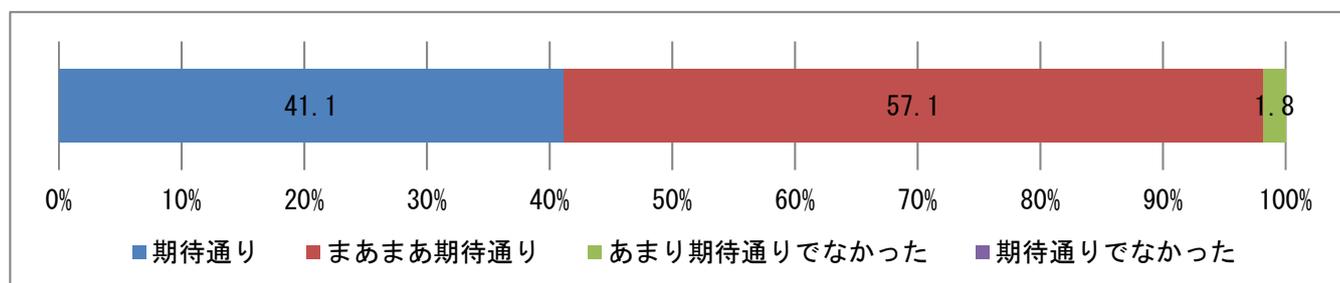
受講者数:56名 修了証発行56名

回答者: 56名



I 研修会全体について

Q1. 研修の内容は期待どおりであったか

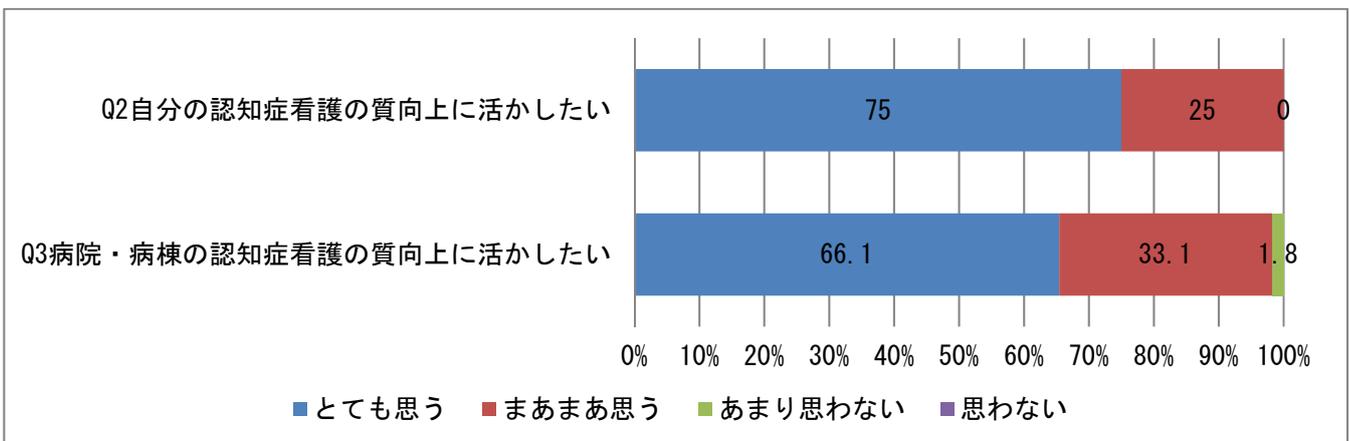


“とても分かりやすく勉強になった。”

- 自分の知りたい事や認知症の方、家族についてなど様々知ることができました
- 基本的な学びから新しい知識まで学ぶことが出来ました
- 基本的な内容で忘れていたことを思い起こさせていただきました。知らないこともあり知識が増しました。

- ・ニーズに合っていた。
- ・基本的なことからチーム連携について幅広い内容だった。
- ・基本的な知識を学ぶことができ、とても楽しかった。
- ・2日間でより詳しく勉強できた
- ・病棟での様子を思い出しながら、研修に取り組むことができ、とてもわかりやすかった。
- ・認知症とせん妄に対して、症状や対応を混合させて考えているところがあった。何が異なるか理解できた。
- ・わかりやすい説明が良かった。
- ・せん妄と認知症の違いについて知りたかったので良かった。
- ・認知症の種類や地域包括について学べた
- ・認知症の細やかな症状や対応について学んだことがなかったため良かった
- “今までの自分の看護を振り返ることができた”
- ・自分自身で勉強していたので振り返りにはなりました。
- “実践に役立つ内容だった”
- ・今後の臨床現場で働く上で活かしていくことができると感じました。
- ・系統的に学ぶことができ、実践に役立てられると思った。
- “内容が難しかった”
- ・難しい内容があった。
- “より臨床で生かせる内容にしてほしい”
- ・より臨床で活かせる看護の方法を指導してほしい。

Q2～3. 研修を受けての感想



Q2: 研修を受けて、自分の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか(理由)

“日頃の自分の看護を振り返り、改善したい”

- ・日頃実施していることの振り返りが出来ました。
- ・自分自身のPTへの接し方を見直すことができた
- ・対応の仕方、コミュニケーションの取り方の見直しになった
- ・今日学んだことで改めなければいけない関わり方などがあったので改善し生かしていきたいです。
- ・病院での改善をしていきたい。
- ・現場で実際に起こっている内容が多かった。何が必要か考える機会になった。

“認知症患者の看護をよく理解できた”

- ・知らないことを多く学びました。
- ・病棟で生かせる認知症患者さんへのコミュニケーションの回り方も学べ良かったと思います。

- ・今まで知らないことが聞けたため
- ・どういうところに気を付けて考えればよいのかなど活かしていきたい。

“その他”

- ・病棟に認知症患者・家族が多くいるため。
- ・関わる機会があるときは関わっていきたい。
- ・院内の学習会を企画するのに参考にします。

Q3: 研修を受けて、病院・病棟の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか(理由)

“学んだことを活かしていきたい”

- ・学んだことをぜひ活かしていきたいです
- ・認知症 Pt の転倒が多いので、学んだことを生かしていきたい
- ・病棟 Pt の 9 割が高齢者で、認知症 Pt も多いため。
- ・高齢者の多い病院なので大切なことが多く含まれていたから
- ・当院での対応には改善の余地があると感じているため。

“他のスタッフにも伝えていきたい”

- ・高齢者が、外科・整形、内科的疾患で多く入院する一般病棟であり、看護ケア改善を目標に病棟へ伝達する。
- ・同じ研修を受けた人同士で広めていけるような工夫をしたい。
- ・多くの病棟スタッフに知識を持ってもらうことで統一した看護ができると思うから。
- ・みんなで共通認識を持ちたい。ケアの振り返りをしていく。
- ・チームケアの大切さを学んだので、学習内容を共有し、よりよい認知症ケアを行っていきけるようにしていきたいです。

“実際に病院・病棟で研修の内容を実践するのは難しい”

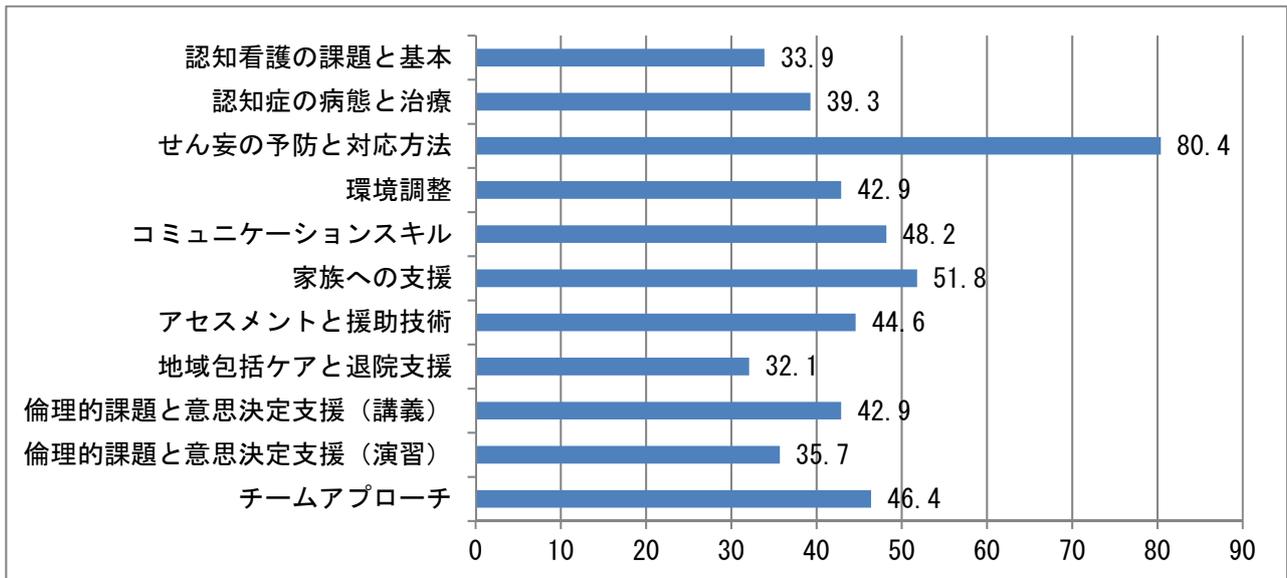
- ・以前からのやり方があるので急に改善するのは難しい。
- ・複雑な業務の中で、心に余裕がないと難しいと思った。時間があればこそだと思いました。
- ・活かしていきたいが伝達などできるか不安。
- ・古い考えのところがあるので

“認知症看護認定看護師と協働したい”

- ・DCN へのサポート体制を整える。
- ・認定取得のため大学に行っているスタッフが 1 人いますので、協力していきたい。
- ・高齢の入院患者さんが多い中、認知症の方もいる。病院の認定看護師とともに同じ視点・目標で支援活動を実践していきたい。

II 研修内容について

Q4. 自分にとって収穫があったと思う講義・演習(%)



Q4-2 講義・演習に追加して欲しい内容、改善点

“時間が短い。休憩時間が欲しい”

- ・時間を気にしてなのかとても早口な講師もいて頭に入りづらい
- ・時間割り
- ・休憩を各講義の後に必ずほしかった。
- ・休憩の時間をもう少し取ってほしい

“講義の時間が長い”

- ・講義が長いと集中力がもたない。

“講義・演習の内容について”

- ・抗認知症薬についてももう少し基本的なところから学びたい。
- ・実際の病院での抑制についての工夫点など教えていただきたい。
- ・DVD 実例はとてもわかりやすかったので、もう少し増やしてほしい。

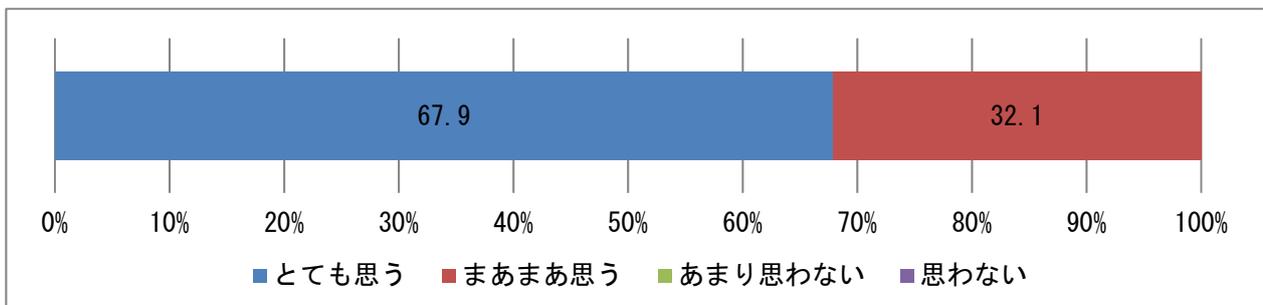
“満足できる内容だった”

- ・資料 DVD 等の事前打ち合わせ。講義がどれも素晴らしく先生方のお話を飽きずに興味を持って聞けました。

“その他”

- ・発表はあまりしたくないな…

Q 6. 病院・病棟の認知症看護の質改善・向上において、このような研修は必要か



“認知症についての知識や理解が必要”

- ・医療職者の認知症に対する考え方や知識を確認するため

- ・知識や対応技術の向上のため
- ・急性期病棟としての役割を担う中で認知症ケアについて理解ない点があるため
- ・専門的な知識を持った人が増えればそれだけよりよい看護が提供できるので。
- ・自病院では認知症看護の知識不足。あいまいな知識があると感じている。

“スタッフや病棟の意識改革のために研修が必要”

- ・「認知症だから…」という理由で何も支援しない風土にならないために
- ・みんな同じ気持ちで関わっていく
- ・認知症患者に対する看護で改める視点もあると思うため
- ・あわただしい業務の中でケアがひどいため
- ・当院では加算2の研修を受けている人が2人しかいないのでぜひ参加してほしい。
- ・チームケアが大切と学んだ。NsはもちろんDrや他職種のスタッフも共通認識を持つために必要だと思う。
- ・認知症患者に対するケアを病棟で勉強する機会があれば役立つと思いました。
- ・BPSDに看護師がとても苦勞している。
- ・倫理が今一つ努力が必要と感じるから。
- ・組織としてどう改善するか研修もほしい。
- ・忙しい業務の中で、落ち着いて考えたり振り返ったりする時間が必要だと思います。
- ・研修を受けると考えが変わると思うため。
- ・認知症の患者さんへの対応は個人差があるため意識の統一はしておきたい
- ・若いNsは認知症の方に対しての接し方が分からない人が多いようだから。
- ・スタッフの認知症患者に対する考え方の面で向上が必要と考えるため。

“認知症患者と接する機会が多いため研修が必要”

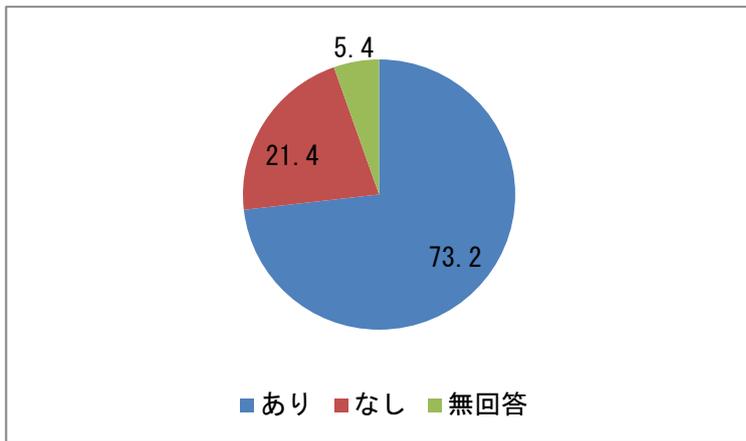
- ・認知症患者が増えるので、とても役立つと思いました。
- ・高齢社会に向けて必須科目だと思う。認知症の理解がないとこれからの医療・看護は成り立たないと思う。
- ・認知症の患者が増えており、普通の人と同じように手術や治療をしているため。
- ・高齢者の受け入れが今後多くなると予想される。
- ・高齢化が進んでいる。
- ・私の勤務先の病院の入院患者さんは70歳以上が8割で認知症の診断を受けている人が半数以上いるからです。

“自分自身の看護を振り返るために研修が必要”

- ・現場の事例を振り返り、看護について考えることができる。
- ・普段していることを確認できるため

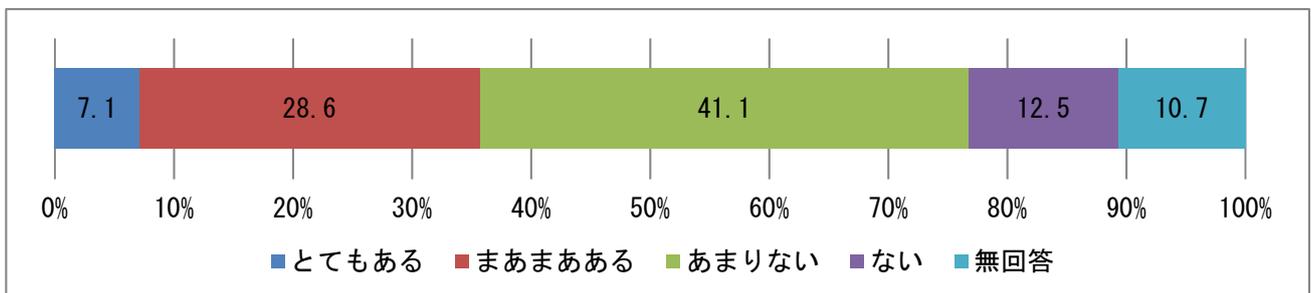
Ⅲ 研修会後の病院・病棟での活用について

Q7. 研修会で学習した内容の病院・病棟での活用予定



「活用予定あり」(N=41)の内容	
病院・病棟報告会	24.4%
伝達講習会	46.3%
マニュアル作成	9.8%
看護計画立案	26.8%
その他	12.2%

Q9. 研修会で学習した内容を病院・病棟で活用・普及するにあたっての困難や障害



“看護師の人手不足、時間の制限がある”

- ・スタッフ数が少なすぎる。
- ・病棟への伝達と統一
- ・一度の伝達ではあまり浸透しない気がするため

“病棟の体制や特色の問題”

- ・各病院・病棟に特色があり、その場に適したことをすぐに実施は難しい
- ・各病棟の認知症ケアの状況が異なることが考えられるため
- ・HCU なので計画立案まで難しいかもしれない

“スタッフの意識改革が必要”

- ・スタッフの認識を変えること、業務の整備など。
- ・どのくらい必要と思っているのか
- ・Ns の個性が強く、あまり受け入れる様子はなさそう
- ・学習会への参加、興味のある人が少ない
- ・かえるのは難しい

“スキル不足”

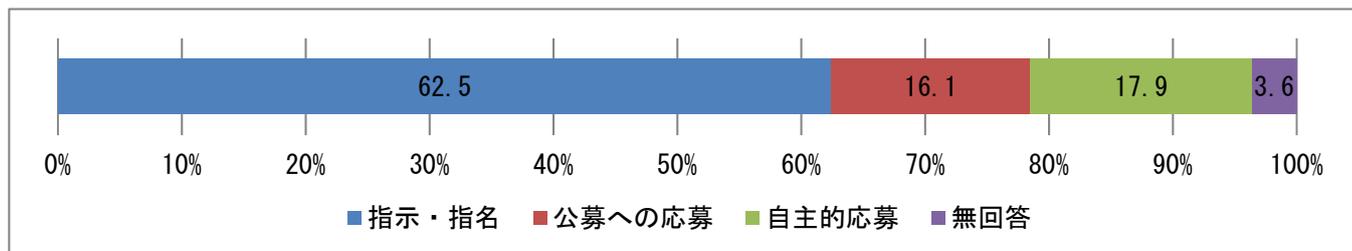
- ・理解した内容を皆にうまく伝える能力があるかどうかという状況
- ・情報や学びが多かったのですべてを伝えると時間がかかる。
- ・認定看護師ではないので、きちんと伝えられるかが心配。
- ・病棟 Ns にこの量の内容のどこを説明するかポイントを絞る必要がある。

“その他”

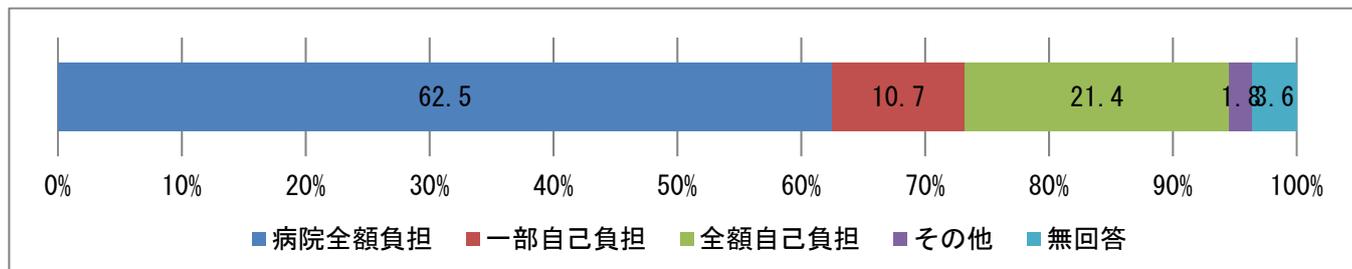
- ・現在療養病棟入院患者さんの 7-8 割方認知症の診断を受けている方だからです。
- ・転倒転落が怖い（骨折・頭部出血とか）
- ・倫理のこと、難しい部分についてや、チームで考えて共同していく面について

IV 研修会への応募・参加について

Q11. 研修会への参加の応募の決定



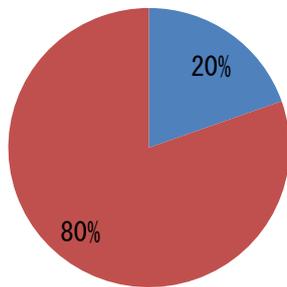
Q12. 参加費の支払い



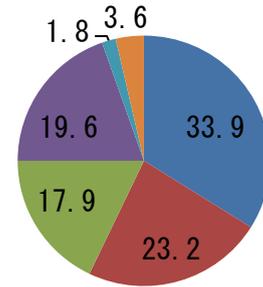
V 参加者の概要

Q13-1 性別

■ 男性 ■ 女性

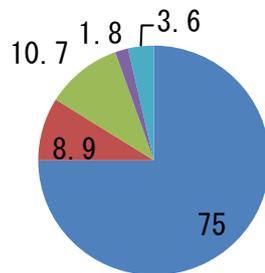


Q13-2 年齢 平均37.7歳



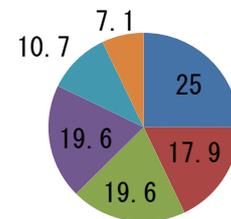
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 未回答

Q13-3 職位



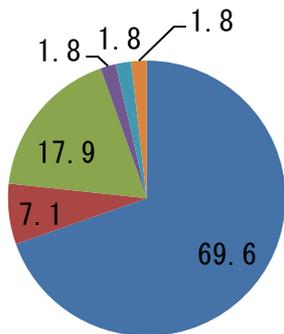
■ スタッフ ■ 主任 ■ 師長 ■ その他 ■ 未回答

Q13-4 経験年数 平均13.5年



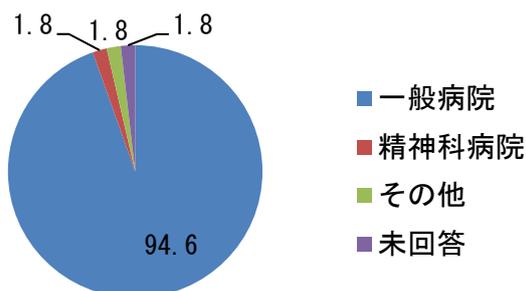
■ 5年未満 ■ 5~9年目 ■ 10~19年目
■ 20~29年目 ■ 30年以上 ■ 未回答

Q13-5 最終学歴

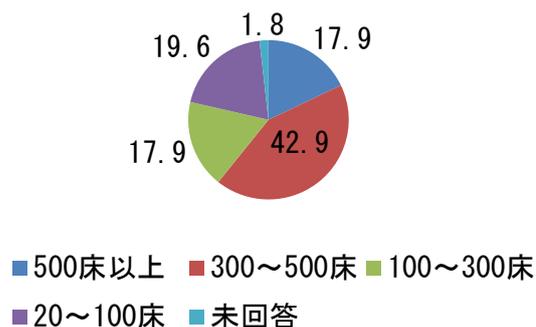


■ 看護専門学校
■ 短期大学
■ 大学
■ 大学院
■ その他
■ 未回答

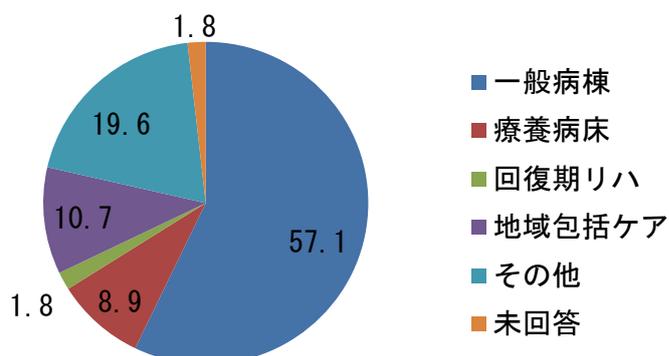
Q14-1 勤務する病院の種類



Q14-2 病床規模



Q14-3 勤務する病棟の種類



Ⅶ 自由記載

〈感想〉

- ・せん妄の対応方法を今後生かしていきたいです。
- ・とてもわかりやすい内容でした。今後の看護に活かしていきたいです。
- ・ありがとうございました。
- ・とても学びのある研修でした。
- ・分かりやすく良かったです。
- ・講師の方々、みなさん素晴らしい内容でした。
- ・日々自分のやっている看護がこれで良かったんだと思えました。
- ・家族にももう少し声かけが必要だと反省もできました。
- ・若いナースにも伝えられたらと思います。
- ・また研修を受けたいと思いました。
- ・明日から気持ちを改めて患者さんに優しく笑顔で援助していきます。ありがとうございました。
- ・2日間ありがとうございました。参加型の内容は考えることができよかったです。講師の方の多くが声のトーンが高く、語尾が強く意外でした。(久しぶりに学生に戻った感じでした。)
- ・1日目の講義では、認知症の基本的な知識や対応方法を知ることが出来ました。2日目の講義では私事ですが、私の母校の先生方に講義をしていただき、昔と変わらずわかりやすい講義内容でした。懐かしかったです。気が変われば大学院進学も検討したいと思えます。2日間ありがとうございました。

〈気づいた点〉

- ・様々な内容の研修でとても学びが多かったです。ただ、時間配分が少し忙しいと感じました。もう少し余裕があり、じっくり考えながら行えればと思います。せわしくて疲れます。

- ・休憩時間が合間にもっとないと集中力が続かない。5分間でもいいのでなるべく多く。
- ・休憩時間が短くなったり、休憩がないことが多かったので集中力が続きませんでした。座りっぱなしが辛かったです。一つの講義時間が延びることも多く、タイトに感じました。
- ・参加費が高いと感じました。自己負担でしたら参加できませんでした。
- ・右側のスクリーンが暗くて見えにくかった。
- ・30分程度開始を早めてでもいいので休憩・トイレタイムがほしかった。

〈今後の希望〉

- ・もう少し自分で書く資料の方が頭に入りやすい。